

食事と憩いと宅配の「よりあいクラブ旭」

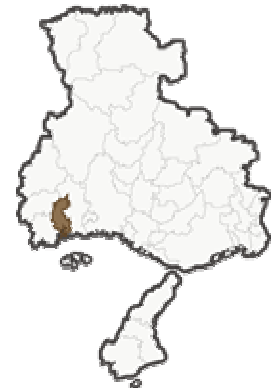
都市の食と農の問題解決には、まず、安全で安心な食材の安定的確保が条件である。NPOひょうご農業クラブは、「まち」に“おら”を持ち込むことを提唱し、相生市と本町商店街振興組合の協力を得て商店街で朝市を先行させ、住民の反応を捉え、次に、空き店舗を活用した、「よりあいクラブ旭」へと発展させた。よりあいクラブ旭は、高齢者の食事、憩いの場の提供および給食宅配事業を実施するコミュニティストランである。高齢者に対話と元気を与えている。

■ 兵庫県相生市

総人口：32,039（人）
世帯数：13,226（世帯）
総面積：90.45（km²）
人口密度：354.2（人/km²）
（平成22年1月29日現在）

■ 旭本町商店街

JR相生駅から南へ徒歩10分の位置にある会員数44店舗の駅前から1番近い近隣型商店街である。
かつては造船業で栄えた企業城下町であった。



背景ときっかけ

相生市は、古くから造船業を中心にした工業都市として発展してきたが、造船業の衰退とともに、商店街の活気は低下した。また、本市の高齢化率は県内で1～2位であり、高齢社会への対応が急務となっている地域である。

このような現状を好転させるために、商店街は毎年春秋には「ほんまち祭り」、夏には「十六夜店」など季節ごとのイベントを行ってきたが、空き店舗の増加は止まらなかった。

淡路大震災を契機に、食料安定供給の大切さ、健康に過ごすための安全な食生活の大切さを痛感した現理事長が、平成13年1月にNPOひょうご農業クラブを設立し、地元相生市の高齢者の健康維持のため、まちなかに安全な食生活が享受できる環境をつくるために、有機野菜生産者とネットワークを築き、街なかで朝市による販売拠点をつくってきた。

この朝市を発展させ、平成15年3月に国と県と相生市の助成により、本町商店街の空き店舗に、コミュニティストラン「よりあいクラブ旭」をオープンさせた。「よりあいクラブ旭」は、①健康と福祉のまちづくり、②食文化豊かな地域社会の実現、③地域の活性化と商店街の再生をその目的として打ち出している。

取組内容

「よりあいクラブ旭」は、憩いの場としての食堂を拠点に、有機野菜や減農野菜、惣菜の販売、給食宅配、看護師による健康相談等を行なっている。この施設を運営する「ひょうご農業クラブ」では、生産者に対して新鮮で安全な食材の栽培を求め、消費者には安全・安心な食材を提供することを運営方針としている。

- ◇生きがいミニ・デイサービス(利用登録制)・・・食事を一緒にとり、看護師による健康相談、健康チェック。
- ◇給食宅配・・・注文販売1日150食。配達ボランティアは、安否確認、話し相手などのコミュニケーションに努めている。給食は事業所や催事のお弁当利用が増えている。
- ◇食品加工・・・高齢者向けの惣菜開発や食べやすい少量パック提供。高齢者のニーズに応えている。
- ◇食堂・レストラン・・・事業の拠点施設で、「安心できる」「おいしい」「安い」を日々研究している。

名称：よりあいクラブ旭（平成15年3月開設）運営：NPOひょうご農業クラブ

所在地：兵庫県相生市旭4-10-14 本町商店街内

面積：80㎡

販売品：有機栽培、減農薬の野菜、酢の物・コロッケ・漬物、農産加工品など 弁当、食堂・レストランでの飲食物の提供

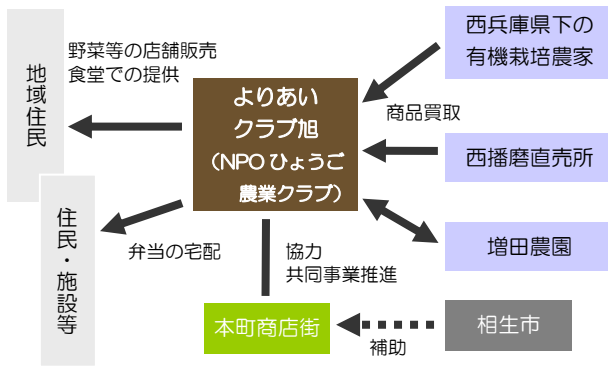
販売方法：野菜は買取販売、食堂利用料金（登録会員は一部市から助成）

営業時間：午前10時から午後5時（定休日 毎週日曜日）

販売員：食堂は1日5名体制（スタッフ20名）



事業の仕組み



※増田農園は理事長が地元から農地を借りてひょうご農業クラブのメンバーとともに野菜を生産している農場である。仕入れは、有機栽培野菜を西兵庫県下の生産者ネットワークを組んで行なっている。



取組効果

- 開設当初から商店街に人の流れが増え、現在も継続している。
- 子供をもつ若い母親を中心に、当店舗で有機野菜を購入する頻度が増えた。
- 当クラブで販売する野菜はおいしく元気が出ると評価している。
- マスコミに取材され、記事の掲載や、ニュースが放映されることにより、商店街の知名度やイメージが向上してきた。



取組上の工夫

- 都市の食と農の問題解決は、農村問題というよりも都市問題であると捉え、それを解決するためには、「“まち”に“むら”を持ち込む」必要があるという理念を実践している。
- 有機栽培農家との栽培視察・食生活を守る相互理解を持った信頼関係にある連携（県内約10農家）を継続し、野菜を仕入れている。
- 有機栽培と地産地消の推進により都市住民の健康と活力を維持するという目標がある。
- 本町商店街と連携し、福祉分野で商店街を活性化させる共同事業への取組を継続している。



今後の展望

- 事業の経営収支を軌道に乗せることが大きな課題である。
- よりあいクラブ旭を、相生地域の高齢者の健康と元気の拠点とし、商店街を軸にした、高齢者に優しいまちづくりを推進する福祉健康事業を推進してゆく。
- 食と農の問題は、都市と農村の問題である。今後は、県内の過疎地の有機農産物を、共同で加工商品化して、都市で販売していく。



本町商店街



店頭での野菜販売



食堂内の飲食の様様



メニュー例